

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	4700	バス路線維持対策事業	予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	10	事業種別	所管課	企画政策課	担当班	企画調整班
基本施策		22		公共交通網の整備	根拠法令	府馬線運行協定書、旭～銚子線運行協定書								☒ 主な事業				
施策の展開		41		公共交通の確保	戦略事業	198	バス路線維持対策事業							☐ 国土強靱化地域計画				
施策の展開					戦略事業									☐ 新市建設計画				
														☒ 定住自立圏構想				
														☐ 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 11 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	千葉交通網が運行している路線バス（府馬線、旭～銚子線）について、路線を維持させることで地域住民の利便性を確保するため、経常損失額に対して補助を行う。 ※補助については経常損失額の2分の1を路線経路上の関係市（香取市、銚子市、旭市）で負担する。 【府馬線】○小見川駅～府馬～旭駅…旭:50.26% 香取市:49.74% ○小見川駅～府馬～旭鹿高…旭:51.76% 香取市:48.24% ○小見川駅～府馬～旭中央病院…旭:53.06% 香取市:46.94% 【旭～銚子線】○陣屋町～イオン銚子～飯岡～旭駅…旭:47.67% 銚子市:52.33% ○陣屋町～イオン銚子～飯岡～旭中央病院～旭駅…旭:48.65% 銚子市:51.35% ○東芝町～イオン銚子～飯岡～旭中央病院～旭駅…旭:50.29% 銚子市:49.71% ○陣屋町～イオン銚子～飯岡…旭:17.94% 銚子市:82.06% ○銚子駅～イオン銚子～飯岡…旭:19.55% 銚子市:80.45% ○東芝町～イオン銚子～旭鹿高…旭:47.77% 銚子市:52.23%	平成14年の道路運送法の改正に伴い、本路線についても不採算路線との理由から退出の申し出があった。千葉県バス対策地域協議会との協議の結果、「生活路線として必要不可欠であるため、関係市の補助を受け運行を維持する。」とされた。	府馬線については利用者が減少してきているが、旭～銚子線においては銚子イオンへの乗り入れ、銚子市の中学校の統廃合による新たな需要が生まれたため、利用が増えた。生活交通として必要不可欠ではあるが、今後人口減少により利用者は減少すると推測される。	銚子市の学校統廃合により、通学にも使われている路線から必要不可欠である。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (28年度の決算)	単位: 千円	単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
1. 負担金補助及び交付金	5,759	千円	4,995	5,342	5,138	5,759	5,760
② 特定財源の内訳 (28年度の決算)	単位: 千円	事業費計 (A)	4,995	5,342	5,138	5,759	5,760
1. 国庫支出金	0	1. 国庫支出金					
2. 都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金					
3. 地方債	0	3. 地方債					
4. その他	0	4. その他					
		5. 一般財源	4,995	5,342	5,138	5,759	5,760

前年度増減理由	運送収入が減少したため（府馬線▲1,538千円、旭～銚子線▲580千円）
---------	--------------------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

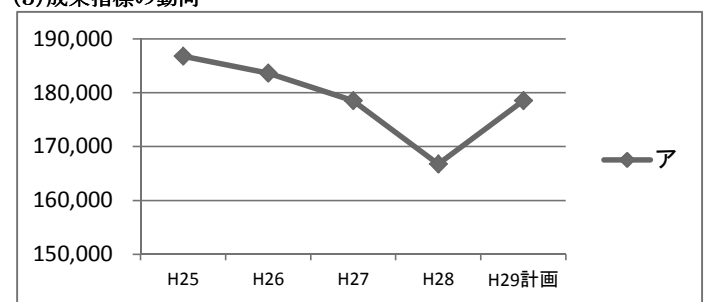
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	28年度実績 (28年度に行った主な活動)							
	補助金交付	ア 1日当たりの便数 (土・日曜日、祝日)	便	36 (26)	36 (26)	36 (26)	36 (26)	36 (26)
		イ 停留所数	箇所	92	92	92	92	92
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	対象 市民							
	意図 移動手段を確保することにより生活の活域が広がる。	ア 年間利用者数	人	186,750	183,612	178,509	166,748	178,509
	対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	今後の方向性
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 比較 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 ア 3,836 △3,138 △5,103 △11,761 11,761 イ	時期 H29.7月～8月 内容 地域公共交通網形成計画を策定するにあたり、事業者へのヒアリングやバス利用者への直接ヒアリング等を行い、今後の路線バスのあり方について検討する。	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 () H29.6月～H30.3月 利便性の高い交通体系の構築を図るため、地域公共交通網形成計画を策定にあたり、利用者の意見や運行事業者の意向を確認するなど、分析・調査を行う。